

「京」分野別応募状況の傾向分析

登録機関 高度情報科学技術研究機構(RIST)



H28/6/28

応募課題の分野分布の傾向

□ 一般課題

➤ 傾向

- 「京」における物質・材料・化学分野については、若干の低下傾向はあるが、継続的に際立って大きな割合を占めている。
- 「京」における環境・防災・減災分野は増加傾向、バイオ・ライフ分野は減少傾向

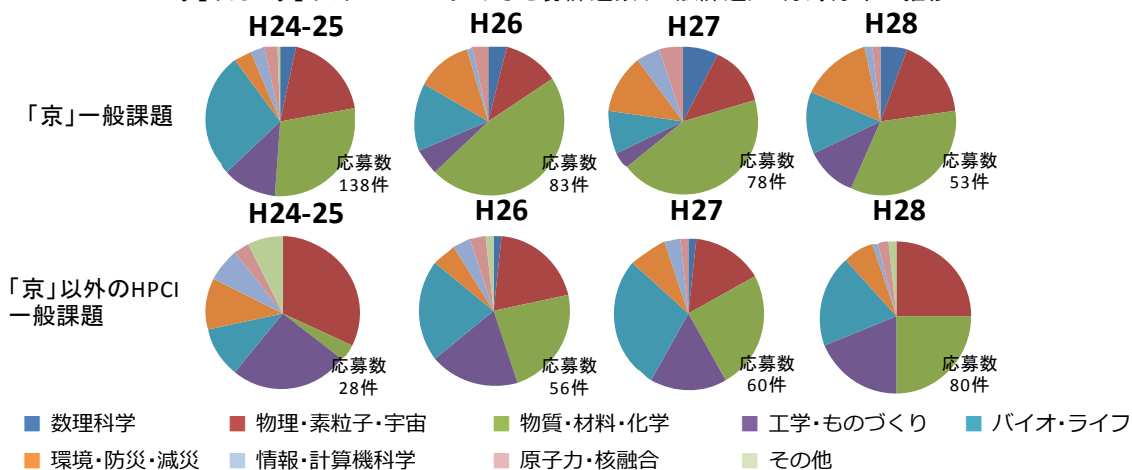
➤ 結論

- 「京」一般課題においては、物理・素粒子・宇宙分野及び物質・材料・化学分野が継続的に約半数の応募数を占めている。
- 「京」以外のHCPIでは、この2分野は当初の約3割程度から約半分に伸びており、需要は高い。
- H28年度募集においては、「京」の応募数が減少し、「京」以外のHCPIで増加している。その変化は、物質・材料・化学分野で顕著。この分野で利用がHCPIシフトしたと考えられる。
- 「京」の応募課題の規模(平均要求資源量)に関しては、依然として増加

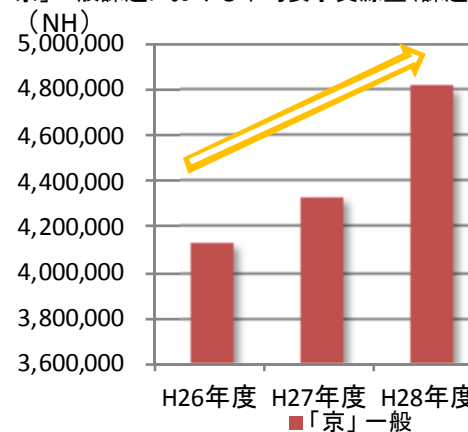
「京」及び「京」以外のHCPIにおける応募課題数(一般課題)の分野分布

募集年度		H24-H25	H26	H27	H28
「京」 一般課題	数理学	5	3	6	3
	物理・素粒子・宇宙	26	10	10	9
	物質・材料・化学	40	39	34	18
	工学・ものづくり	16	5	3	6
	バイオ・ライフ	37	12	7	7
	環境・防災・減災	5	10	10	8
	情報・計算機科学	4	1	4	1
	原子力・核融合	4	3	4	1
	その他	1	0	0	0
計	138	83	78	53	
「京」以外のHCPI 一般課題	数理学	0	1	1	0
	物理・素粒子・宇宙	9	11	9	20
	物質・材料・化学	1	13	15	20
	工学・ものづくり	7	11	10	15
	バイオ・ライフ	3	12	17	16
	環境・防災・減災	3	3	5	5
	情報・計算機科学	2	2	2	1
	原子力・核融合	1	2	1	2
	その他	2	1	0	1
計	28	56	60	80	

「京」及び「京」以外のHCPIにおける応募課題数(一般課題)の分野分布の推移



「京」一般課題における平均要求資源量(課題当たり)



応募課題の分野分布の傾向

産業利用課題

傾向

- 「京」においては、初回募集を除き、各募集ともほぼ同一の分野分布傾向を示している。
- 「京」については、初回募集を除き、工学・ものづくり分野が過半数を占める。

結論

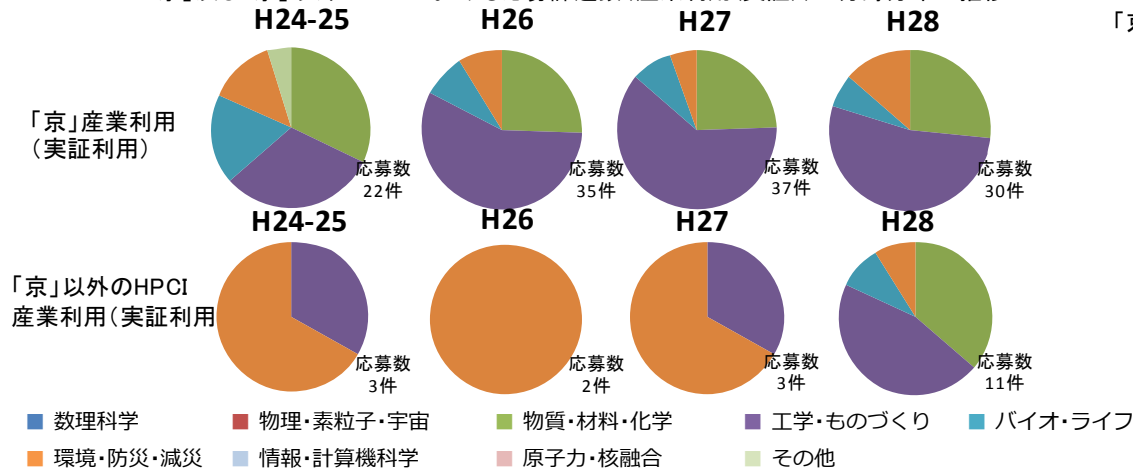
- 「京」産業利用課題においては、初回募集を除き、約半分以上が工学・ものづくり分野への応募となっている。
- 物質・材料・化学分野を加えると初回募集を除き、約8割以上となり、産業界における需要はこの2分野に集中している。
- H28年度募集では、産業利用における小規模な課題を「京」以外のHPCI利用に誘導(*)したことから、応募数が「京」から「京」以外のHPCIへシフト。その変化は、物質・材料・化学分野、工学・ものづくり分野及びバイオ・ライフ分野に現れた。

(*) 「京」の産業利用課題への応募条件を平均利用ノード数200以上とし、小規模な課題をHPCIに誘導した。その結果、平均要求資源量(課題当たり)はH27年度の300万NHからH28年度は350万NHに増加。

「京」及び「京」以外のHPCIにおける応募課題数(産業利用(実証))の分野分布

募集年度		H24-H25	H26	H27	H28
「京」 産業利用(実証)課題	数理科学	0	0	0	0
	物理・素粒子・宇宙	0	0	0	0
	物質・材料・化学	7	9	9	8
	工学・ものづくり	7	20	23	16
	バイオ・ライフ	4	3	3	2
	環境・防災・減災	3	3	2	4
	情報・計算機科学	0	0	0	0
	原子力・核融合	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0
計	22	35	37	30	
「京」以外のHPCI 産業利用(実証)課題	数理科学	0	0	0	0
	物理・素粒子・宇宙	0	0	0	0
	物質・材料・化学	0	0	0	4
	工学・ものづくり	1	0	1	5
	バイオ・ライフ	0	0	0	1
	環境・防災・減災	2	2	2	1
	情報・計算機科学	0	0	0	0
	原子力・核融合	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
計	3	2	3	11	

「京」及び「京」以外のHPCIにおける応募課題数(産業利用(実証))の分野分布の推移



「京」及び「京」以外のHPCIにおける応募課題数(産業利用(実証))の推移

